

 こもろ
市議会だより
9月定例会

No. **172**
平成 29.10.25



こもろんも一緒に体操！

小諸小唄シャンシャン体操の会のみなさん

**平成28年度
決算を認定**

主な内容

- 9月定例会特集と概要 2～5ページ
- 常任委員会報告 6～7ページ
- 一般質問（16名）..... 8～17ページ
- 「議会と語る会」のまとめ
市長へ提言しました 18～19ページ
- ぼいす～キラキラ小諸人～
傍聴席・編集後記 20ページ

自主財源の確保は厳しい状況 引き続き効率的な市政経営が必要

平成28年度決算の概要

前年度までの大型公共事業の終了により、一般会計では歳入・歳出額がともに前年度を大幅に下回りました。

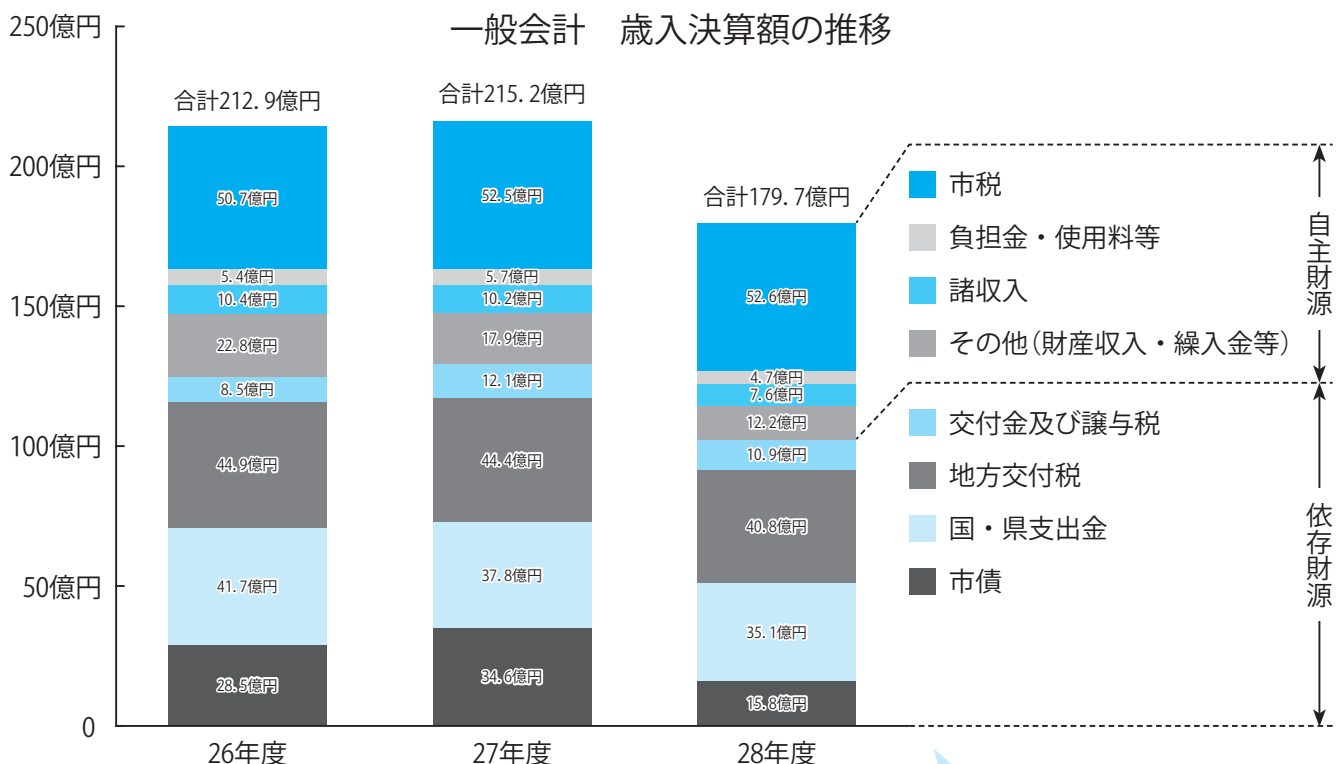
一般会計の歳入総額は179億7千212万円、前年度比16・5%の減、歳出総額は169億8千637万円、前年度比17・6%の減となりました。

財政の健全化の指標となる実質公債費比率は、公共下水道会計への繰出基準の見直しにより、準元利償還金が減となり、その結果、前年度比0・7ポイント低下の9・3%となりました。

市税を中心とした自主財源の確保は依然として懸案事項であり、依存財源である地方交付税も大幅な減額になりました。

（※1）国で示す早期健全化基準は25%で、これを下回るほど健全な自治体運営といえます。

一般会計 歳入総額 179億7,212万円



ふるさと納税の事業状況は？

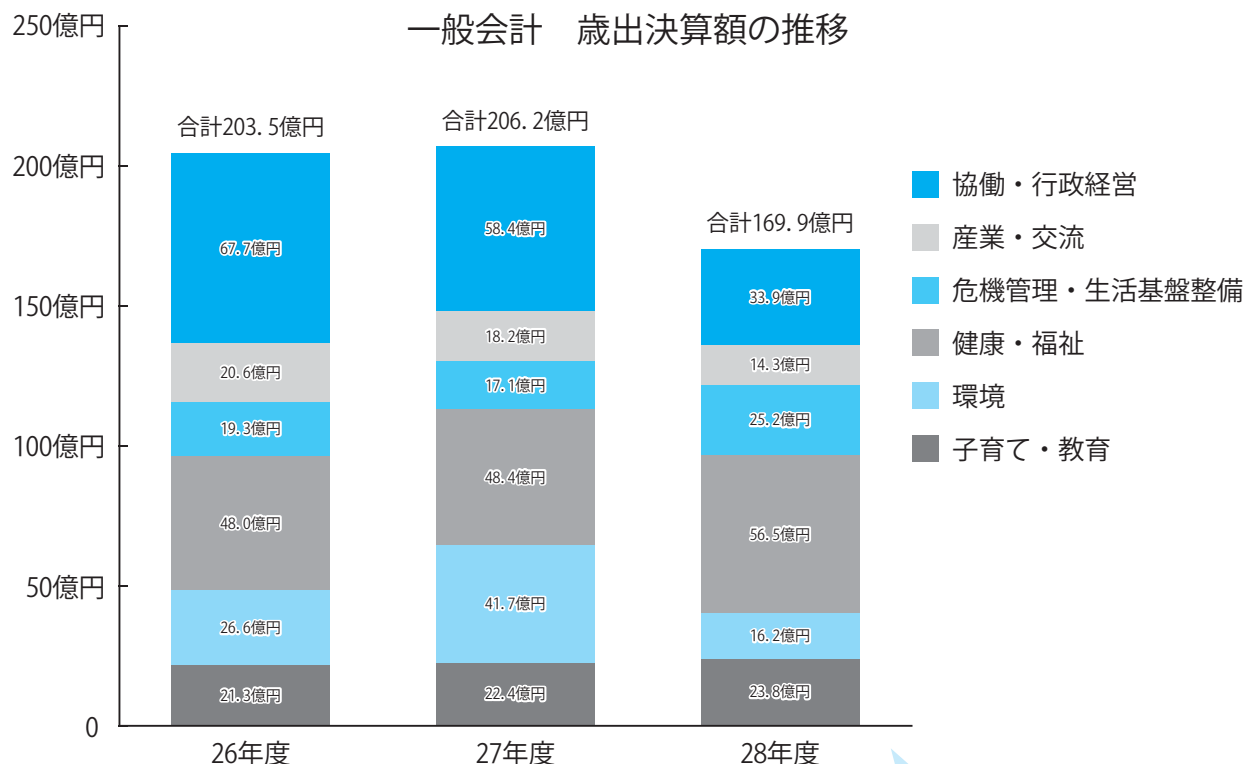
小諸市への寄附の実績・・・5,213万円余（2,434件）

返品購入や委託費等経費・・・1,954万円余（返品を取り扱う市内事業者等へ還元されています。）

市税の控除額

小諸市民が他市町村に行った寄附による市税控除額は、929万円余（217人）となっています。

一般会計 歳出総額 169億8,637万円



一般会計歳入歳出差引額 9億8,574万円の内訳

- ・平成29年度へ明許繰越 4億6,984万円
(事業繰越により財源繰越されたもの)
- ・財政調整基金への積立 2億6,000万円
- ・平成29年度へ繰越 2億5,590万円

市庁舎や図書館、ごみ焼却施設などの大型公共工事の終了により、前年度に比べ大幅に減額となりました。しかし、今後、消防庁舎などの大型工事の支出が見込まれることから、歳出の削減は容易ではありません。

政策別の支出状況（市民一人当たり397,668円の支出になります）

1 子育て・教育 23億7,990万円 一人当たり55,716円	2 環境 16億2,053万円 一人当たり37,938円	3 健康・福祉 56億4,606万円 一人当たり132,180円	4 危機管理・生活基盤整備 25億1,714万円 一人当たり58,929円
5 産業・交流 14億3,232万円 一人当たり33,532円	6 協働・行政経営 33億9,042万円 一人当たり79,373円	7 (内) 借金返済 15億5,776万円 (一人当たり36,469円)	※人口42,715人で計算 (平成29年9月1日現在 外国籍住民を含む)

平成28年度一般会計・特別会計 ・企業会計など 17会計の決算を認定しました

決算の審査

平成29年第4回9月市議会定例会が8月29日から9月21日までの24日間の日程で開かれました。本定例会では、市長から決算、補正予算、条例、人事等の37件が提案され、それぞれ認定、可決、同意しました。また、議員より条例改正及び意見書の提出についての発議があり、すべて可決しました。

平成28年度決算の審査にあたり、出された主な質疑と答弁は次のとおりです。

■一般会計

【基金積立について】

質疑 基金の積立では、利子のみで、元金の積立がなかった。理由は何か。

答弁 当市の財政運営の手法として、当初予算の計上の際には財源不足等があるので、基金より繰り入れて予算編成している。

年度中に市税等の状況を見て財源に余裕があれば

ば財源組み換えをして基金からの繰入額を減らし、更に余れば積立ってきた。ここ数年は大型事業があり、取り崩しのみとなっている。

質疑 決算積立では、財政調整基金に積立てるとのことだが、学校建設準備基金といった特定の基金への積立ではできないか。

答弁 基金より繰り入れて予算編成をしている状況下では、特定の目的基金への積立では好ましくない。財政調整基金もしくは減債基金への積立に限定している。

【非常備消防費】

質疑 消防団員の充足

率は100%であるが、地域差についてはどうか。

答弁 現在は、定数割れしている部を定数以上いる部で補っている。各部の定数についても数年をかけて検討したい。

【乳幼児健診事業】

質疑 発達障害の兆候がある場合、教育委員会と記録の共有はするのか。

答弁 3歳までの健康診断で、発達障害を早期に発見するのが健康づくり課の取り組みとなる。教育委員会と連携を取り情報の共有をし、支援をしている。

【在宅福祉サービス事業】

質疑 地域包括ケアシステムの構築を進めると掲げているが、現在の課題は何か。

答弁 在宅での医療と介護の連携事業や認知症の施策は展開しているが、地域包括ケアシステムの構築に向けた事業の核と

なる、高齢者の生活を支援する体制を作らなければならないと考えている。

【小学校低学年学習支援事業】

質疑 効果はどうか。

答弁 小諸市教育の特色ある取り組みであり、学習習慣形成など個々の児童への支援と学級経営への支援に効果がある。

【体育施設運営事業】

質疑 南城公園プールの今後の見通しはどうか。

答弁 採算面だけ見ると収入に比べて支出が大きく上回っているが、海のない小諸市でプールが担ってきた役割は大きく、市民ニーズも高いことから、直ちに廃止ということとなく、大事に使いながら延命化を図りたい。

【市道維持補修事業】

質問 区からの要望が繰り越された時の扱いはどうか。

答弁 新たに申請されたものを含め優先順位が高いものから対応している。

年度初めに区長宛てに優先順位を回答している。

【運動遊び事業】

質疑 運動遊び事業が始まって4年が経過したが、その効果と小学校への展開はどうか。

答弁 効果を数値で示すことは難しいが、集中力の高まりや俊敏性等において効果が表れている。小学校への展開については、各小学校の希望に応じて取り組んでいる。

【移住・定住促進事業】

質問 移住相談による移住者数が29組52人と平成27年度のおよそ倍だが、事業の内容はどうか。

答弁 移住体験ツアーや首都圏での移住セミナー等への参加で、活動内容は変わっていない。

【浄化槽設置整備事業】

質疑 合併浄化槽の市単独の上乗せ補助の廃止はなぜか。

答弁 平成20年度より補助を行ってきたが、単独浄化槽からの切り替えが減少したため、平成30年度から廃止したい。

意見 公共下水道の区域外の水洗化は合併浄化槽のみとなるため、上乗せ補助は継続するべきではないか。

【災害復旧事業】

質問 御影用水災害復旧事業の進捗状況と今後の見通しはどうか。

答弁 発災後、1年が経過するので、早期に本復旧に入れるよう取り組んでいるが、法面の所有者2人から同意を得なければ実施できない。2次災害を起こさないように受益者の利益を守ることが優先して進めていきたい。

【除融雪事業】

質問 降雪が少なかつたが、なぜ8千万円もの除融雪委託料がかかるのか。

答弁 除融雪委託料は、機械の維持管理費及び待機補償費等が固定費用として6千万円程度かかり、これ以外に稼働する時間当たりの作業費がある。

■特別会計・企業会計【水道事業会計】

質疑 水道管敷設替えの平成31年度の目標値は1%となっているが数値の具体的根拠は何か。

答弁 水道管の法定耐用年数は40年であり、毎年2・5%ずつ更新しないと対応できないが、財政的にできない。水道料収入に合わせ努力目標として、1%に設定した。

◆一般会計決算認定に

対する討論

反対討論（掛川剛）

同和団体の決算書による支出の中身は各種大会や集会等への支出が多くを占め、補助金本来の目的がどのように活かされたのか検証が不十分なため、認められません。同和関係の決算に限らずすべての補助金・委託料等が目的に沿って効果的に活かされているか十分な検証が必要です。

賛成討論（相原久男）

平成28年3月定例会において、議会では同和関連予算等を含めた平成28年度一般会計予算を議決しております。議決した内容に基づき、予算執行されていると判断し、平成28年度決算の認定に賛成します。

議案に対しての表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。○は賛成、●は反対を表しています。議長は表決に加わりません。

議 案 名	会 派 名				創正会				市誠会				日本共産党			新政会			公明党		改革の嵐		
	議 員 名				竹内健一	相原久男	田中寿光	依田善典	山浦利夫	丸山正昭	小林一彦	高橋公	柏木博美	早川聖	掛川剛	清水喜久男	中村憲次	神津眞美子	柏木今朝男	土屋利江	小林重太郎	福島鶴子	林稔
平成28年度小諸市一般会計歳入歳出決算認定					賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	/

意見書

次の意見書を内閣総理大臣ほか関係省庁へ提出しました。

●道路整備事業に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書

人 事

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意しました。

●小諸市教育委員会委員 山下千鶴子氏（大手）任期は平成29年10月10日から平成33年10月9日までの4年間です。

野岸小学校管理棟改築工事請負契約 11億3千万円余を最終日即決 一般会計補正予算・条例改正など18議案を可決

総務文教委員会

■野岸小学校管理棟改築工事請負契約を可決

質問 児童・教職員への安全の確保はどうか。

答弁 校庭の入り口に警備員を配置するなど解体工事と同様に行う。また、授業に影響のないよう配慮する。

質問 建築工事の周知についてはどうか。

答弁 野岸小学校改築懇談会で工事の説明を行うと共に、工事の進捗状況についても改築通信でお知らせしていく。

質問 小諸市くらしの浪漫館条例の廃止を可決

大手門公園にあるくらしの浪漫館は新耐震基準を満たしていないことから取り壊すため、条例を廃止します。

質問 歴史的価値のある収蔵品の扱いはどうか。

答弁 休館中の郷土博物館で保管するが、市役所ロビーでの展示等、活用方法を考えていきたい。

■小諸市防災会議条例の一部改正を可決

小諸市防災会議の委員に陸上自衛隊の自衛官を加えます。

質問 条例改正に至った理由はなにか。

答弁 大きな災害が発生した場合、自衛隊の支援は欠かせないため、県や他の自治体では既に自衛官を防災会議のメンバーとしている。小諸市でも災害時の経験を持つ自衛隊の知見を活用したいため条例を改正する。

■市役所前ロータリー整備等負担金5千859万円を可決

質問 庁舎管理費として、市が厚生病院に対し、応分の負担をするのとどことだが、具体的にはどのような内容か。

答弁 市役所・厚生病院のロータリーや市民広場のアスファルト舗装及びコンクリート舗装等の整備工事を厚生病院側で一括実施をする。それに対し市が応分の負担をする経費です。

答弁 市役所・厚生病院のロータリーや市民広場のアスファルト舗装及びコンクリート舗装等の整備工事を厚生病院側で一括実施をする。それに対し市が応分の負担をする経費です。

■消防庁舎建設のための土地購入費1千万円を可決

質問 消防庁舎建設に伴う土地購入予算であるが、消防庁舎の配置や面積はどうか。

答弁 緊急車両の出入り口は国道18号線と同じレベルとなり、庁舎は3階建て、延べ面積は2千㎡であり、現庁舎より広く、この面積があれば十分だと判断している。

意見 消防車両も大型化しており、近い将来には水槽車を配備することとなるので、建設後に支障がないよう慎重に進めてほしい。

■天池総合運動場の整備事業費9千530万円を可決

質問 天池総合運動場の下の段の奥側はどのように整備するのか。

答弁 国の地方拠点整備交付金により整備を行い、その後、日本スポーツ振興センターの助成金4千800万円を活用して、4千㎡を人口芝化し、子どものサッカー競技場を含む多目的グラウンドとする計画です。

福祉環境委員会

■出生から高校3年生までの医療費の窓口無料化を実施する条例改正を可決

質疑 本条例改正により、全体の財源への影響はどの程度見込まれるのか。

答弁 医療費の無料化については、現在すでに高校3年生まで実施しているもので、影響はないと見込んでいる。

○ 現在、医療機関等の窓口で一旦支払っている医療費については、それぞれ月500円の受益者負担金を除いて、窓口で支払う必要がなくなります。

なお、この条例の施行は平成30年8月1日からとなります。



■児童発達支援施設ひまわり園を、平成30年4月1日から指定管理に移行する条例を可決

【質疑】 閉所時間が午後7時になると夜間や冬期は危険だが、今後の整備予定はどうか。

【答弁】 街灯の設置や除雪機による除雪等を行い、危険がないように対応したい。

【質疑】 放課後等デイサービスとの役割として社会との交流の促進があるがその対応はどうか。

【答弁】 指定事業者と相談をして地域への広がりを出せるようにしたい。

【意見】 放課後等デイサービス事業者に対して、質の向上を促す施策を講じて欲しい。

（※1） 指定管理者制度とは、公の施設の管理・運営に民間企業やNPO法人などのノウハウを活用する制度

■野岸の丘総合福祉センターを平成30年4月1日から指定管理に移行する条例案を可決

【質疑】 指定管理への移行に伴いどのような内容のサービスが受けられるのか。

【答弁】 地域福祉の分野、障がい者福祉の分野、高齢者福祉の分野等、考えられるサービスはたくさんある。サービスが入ることにより毎日の施設利用が期待できる。

【質疑】 指定管理とした場合の運営に関わる費用の見込みはどうか。

【答弁】 現在の館の運営に関わる費用負担は、市は1割、社会福祉協議会が9割となっている。この1割については指定管理者に負担していただく。2階については引き続き貸し館業務を残し、その費用については指定管理者に対して指定管理料として支払う。

経済建設委員会

■動物園のミニブタ展示施設改修の補正予算300万円を可決

【質疑】 どの施設を改修するのか。

【答弁】 ミニブタを譲り受けたが、現在シカ谷で飼育しており、来園者に見てもらう場所としてライオン舎近くの活用されていない池を施設改修する予定です。



動物園の新しい仲間・ミニブタ

■厚生住宅1軒除去のための補正予算200万円を可決

【質疑】 建物の取り壊し

だけで、200万円もかかるのか。また、本来払い下げを前提とした住宅にもかかわらず、古くなった建物を取り壊し土地だけ返すとなると、市の負担が大きくなるが、その点についてどう考えるか。

【答弁】 取り壊し費用は精査し、今後も払い下げ可能なものは払い下げていきたい。

【意見】 厚生住宅の除去に関することも含めて、委託業務については委託先の見積書を精査することを励行し、委託先任せにせず、契約内容についてもきちんとチェックして頂きたい。また、厚生住宅処分及び市営住宅管理の方針を示して運営していただきたい。

■駆除したシカで作ったシカジャーキーのウェットタイプ品の臨床実験のための補正予算53万円を可決

【質疑】 臨床実験はどん

な頻度で実施していくのか。

【答弁】 ウエットタイプ商品の臨床実験は、今回のみで、療法食として効果があがるかどうかを実験的に測定する。麻布獣医学大学監修の商品となるよう検証していただき、その結果をPRし、価値を上げていきたい。



商品化された小諸市鹿肉ドッグフード

次回12月定例会の日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
11/27	28 本会議 (提案説明等)	29	30	12/1	2	3
4	5	6 本会議（一般質問）	7	8	9	10
11	12 福祉環境 委員会	13 経済建設 委員会	14 総務文教 委員会	15	16	17
18	19 本会議 (委員長報告等)	20	21	22	23	24

* 予定のため、変更となる場合があります。開議時間は概ね9時からとなります。詳しくはお問い合わせください。

一般質問

代表質問 6名

個人質問 10名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」をチェックするために行うもので、代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派の代表者が質問するもので、3月・9月及び市長の改選後の初の定例会で行われます。

個人質問は、議員個人が質問するもので、1人1時間の持ち時間内で行政とやり取りが行われます。



学校改築には財政的な裏付けを

日本共産党 代表 掛川 剛

質問

コンパクトシティ構想による大型事業が一段落した。次は学校改築を最優先して取り組む必要があるが市長の見解はどうか。

市長

市民も行政も共通認識のもとで、学校改築を最優先でやっていく。

質問

現在、長期学校改築計画検討会が行なわれている。市民の意見を聞いたとしても財政最優先の結果になつてはならないがどうか。

市長

地域の皆さんと学校本来の機能以外にも様々な要素等について検討しながら方向性を決めていく。

質問

学校建設準備基金残高が2億円余しかない。28年度では新たな積立てをしていないが必要ではなかったか。目に見える形で財政の裏付けをしてほしい。

総務部長

目的基金を積立てていく必要はあると考えているが、現在は基金

から繰り入れをしたまま決算をしている財政状況なので、目的基金をどうしていくかの検討が必要。

質問

地域の課題解決には市役所の地区担当職員が、もっと地域の中に入っていくと一緒に考えてやっていく必要があると思う。

市長

机の上の業務のほかに地域に出ていくというのは負担も大きいが、職員の資質も磨かれていくと思う。どう考えるか。

市長

大変素敵な見方をさせていただいてありがたいと思う。地域へ出ていき仕事をするのは机上の仕事だけでは決して得られないものがあり、磨かれてさらに市民益として返っていく循環につながる。

質問

全国風穴サミットが行われた。地域、若手建築士会の皆さん、研究者など多くの皆さんと市や関係機関が一体となり、まさに協働の精神で成功させた取り組みだった。氷風穴の活用と、今後の支援を

どのように考えるか。

市長

風穴の活用については風穴所有者と氷区の皆さんの意向が一番と考える。協働のまちづくりの視点で捉え、地元の考え方を尊重し、持続可能なまちづくりのため、できる支援をしていきたい。



氷風穴の朽ち果てた建物はサミットを機に撤去された。今は石積みだけが残る。

質問

今までの防災訓練はシナリオ通りに行ってそれを見学するというやり方だが、このような訓練方法はもうやめるべき。地域の中でも自主的に考えてやるところも増えてきている。地域で自ら考えてやる方式に改めるべきではないか。

市長

ご指摘を謙虚に受け止め今後の防災訓練のあり方を検討していく。



行政マネジメント 評価の見直しを！

新政会 代表 神津眞美子

質問

決算の全体を見た時、執行率は83%余で、例年90%台であることと比較して低いがどうか。

総務部長

繰越事業費が高額になったことに伴い、執行率については低くなったと受け止めている。

質問

款項の歳出一覧には執行率30%、40%、60%台のものが複数見られるが、予算執行による当初の指す目的は達成されたのか。

総務部長

全体的には一定の取り組みをしたと思うが、今後課題を残した部分もある。

質問

小泉市長の下で執行された予算の初めての決算がどうか。

市長

諸条件等もあった中においては、一応、一定の成果は得られたのかなと評価している。

質問

先の国会で地方自治法等の一部

が改正され、内部統制の制度化が図られることとなった。小諸市では、その具体例となる行政マネジメントを運用してから4年が経過するが、目指す姿に近づいてきているか。

総務部長

運用面については、まだまだ課題があると率直に思っている。決算から9月議会への報告まで、成果説明書への結び付け、政策戦略立案会議、実施計画の策定、予算編成へと、どう効率的にやっていくのか、検討の余地はまだあると受け止めている。

質問

決算に当たり、担当課で実施する事業評価は、その後の行政の方向を決める上で極めて重要であると考えている。市長が目指す行財政改革に向けて、事業評価シートの記載方法や評価のあり方を検討すべきではないか。

市長

ご指摘の問題点、見える化していく部分に関して、改善が必要と

思う。如何にシートに表していくか検討を行っていきたい。

質問

「音楽のまち・こもろ」を目指すに当たっては、音楽に触れる環境づくりが非常に大切だと考える。ステラホールの音響について、響きが悪く、反響板設置の要望があるがどうか。

教育長

これから音楽のまちと銘打って、皆さんに盛んに使っていただくためには、やはり演奏する側とすればあった方がいい。反響板設置にはいろんな方式があるので、時間をかけてしっかりとしたい良いものを入れる方向で考えたい。

市長

教育長の答弁と同じように検討させていただく。





平成28年度決算行政報告をうけて 創正会 代表 田中寿光

質問

「選択と集中」による市政経営をどのように進めるのか。

市長

「財政運営の原則」に従い、基本的には実施計画策定の中で設定する施策内順位の高い事業へ経費を優先的に配分していくことで、「選択と集中」を進めていきたいと考えている。一般的にこれまでの行政は、事務事業を増やすのみで、廃止や縮小といったことが非常に不得手であったと感じている。

質問

普通交付税の減額による財政への影響についてどう考えているか。

市長

減額の理由は、歳入面では、平成27年度からの法人市民税の増収と、地方消費税交付金の税率引き上げによる増加などにより、基準財政収入額が大幅に伸びたことがある。

また歳出面では、普通交付税の多くの費目で基礎数値としている国勢調査人口が、平成27年度調査

により減少したことにより、総じて基準財政需要額が減少したこと

などによる。普通交付税は、あくまでも財源不足を補うものなので、歳入面では自主財源の確保を第一に取り組み、歳出面では行政経費の縮減を図り、身の丈に合った財政運営に努めることにより、財政への影響を最小限にとどめることが出来るものと考えている。

質問

法人市民税確保の取り組みについてどう考えているか。

市長

法人税が増加することで、個人所得の増加や雇用の促進にも期待が持てるなど、間接的な影響も大きいと認識している。法人税は企業の業績が直接反映され、景気や経済情勢などの外的要因も大きいことから、市内企業の経済活動が活発になるような支援や、ひとつでも多くの企業に立地いただくことが重要だと考えている。

そのため既存企業に対する支援では、今年度から企業に対する助

成金制度を全面的に見直した。また助成制度や融資制度、従業員の研修制度や福利厚生などを紹介する企業支援サイトを、市のホームページ上に作ったので、引き続き商工会議所とも連携し、企業の皆様の声をお聞きしながら、業績の向上につながる支援策を検討していく。

質問

多額な支出が見込まれる新たな課題をどう捉えているか。

市長

近年、多額な支出を伴う大型事業が続いているが、今後もコンパクトシティの推進や、旧小諸本陣の保存修理事業、小学校、保育園などの公共施設や道路、橋梁、公園といったインフラ施設の改修・改築・点検などには多額の支出が見込まれ、新たな課題となっている。

質問

財政指標における「実質公債費比率」と「将来負担比率」の改善の要因は何か。

市長

平成28年度で「実質公債費比率」の数値が改善した要因は、公共下水道事業会計における会計基

準が見直され、公営企業債の償還経費が繰出基準外となり、一般会計繰出金が減少し、「準元利償還金」が2億3千万円余り減額となったことによる。

「将来負担比率」も同じ要因で、公共下水道事業会計への繰出金が減少したことにより、将来負担額となる「公営企業債等繰入見込額」が9億4千万円余り減少し、数値が改善した。

財政健全化判断比率

指標	小諸市の状況	国が示す基準	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	9.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	30.5%	350.0%	

○国が示す基準の数値より下であるほど健全な自治体運営といえる。



受動喫煙のない小諸市を！



市民が安心して安全に暮らし続けるために 公明党 代表 柏木今朝男

質問

公共施設等総合管理計画の基本方針に「公共施設の総量縮減を目指す」とあるが、具体的な縮減数値目標が示されていない。適正な削減規模をどのように考えるか。

市長

長期財政見通し等と、市民の声、利用者の声を聞きながら、削減をしていくという方向でいきたい。

質問

受動喫煙防止の対策について、全ての子どもたちや市民が、安心して健康に暮らせる環境づくりの整備は、行政としての責務と考えるが、市長の見解を問う。

市長

受動喫煙の被害がないように、行政として最大限の配慮をしていかなければならないということを改めて思った。

質問

受動喫煙の防止に関する法律が施行されて14年以上が経過するが、努力義務とは言え、依然、非喫煙者が受動喫煙の被害に遭っている現状では、「小諸市ポイ捨て防止等美しい環境づくりを進める条例」を改正するなどして、規制策を検討すべきではないかと考えるが、市長の所見を問う。

市長

先進事例等も参考に検討したい。

質問

障がい者や高齢者が、安心して選挙権を行使できる環境整備について、事前に映像等を使って投票手順等を分かりやすく紹介するなど、相手の立場に立つての積極的な投票支援が必要ではないか。

選挙管理委員長

検討していきたい。



民間出身市長の「市民目線」での市政運営を問う 改革の嵐 代表 福島鶴子

質問

市民の立場にたった行財政運営とは、具体的にどのような事か。

市長

行財政改革はあくまで手段。住民福祉の増進、目指すべき将来都市像に向け、行政運営に必要な事を改革していく事と考えている。

質問

市長に期待する事は「市民目線で見、聞き、考えてくれる市長」だと思う。行政主導で進められた例として、消防庁舎移転場所の決定がある。住民の声を聞く事についてどう考えているか。

市長



こうあってほしい市政運営

あの判断、あの経過で間違いはなかったと考えている。

質問

行政主導で進めざるを得ない場合でも、最小限関係者等の民意掌握は必要と考えるがどうか。

市長

市民協働の考え方からも、市民の意見を計画等に反映させるべきとは思ふ。しかし、現実問題として「時間的余裕がない」等、様々な制約がある。

質問

今の小諸市行政には、決定する前に、市民の声が届く機会が無い。市長が代わっても「代わり映え」を感じない印象があるがどうか。

市長

事前に計画を市民に説明する手段が限られている中、行政職員は最大の努力をしている事を理解していただきたい。

要望

小諸市自治基本条例で掲げられる住民自治推進に向け、「住民参加」の市政運営に努められたい。



財源の確保に向けた取り組みを

市誠会 代表 山浦利夫

質問

平成28年度決算をどのように捉えているか。

市長

数値的にみても健全財政を維持することができたと判断している。公約である「こもろ未来プロジェクト」も一定の前進を図ることができた決算だと受け止めている。

質問

決算から今後の課題をどのように捉えているか。

市長

将来にわたって、財政の健全性をいかに確保していくかが、今後の課題と考えている。

質問

少子高齢化の進展や将来の人口予測等から、財政状況は厳しくなると考えている。新たな財源確保に向けて企業誘致など将来を見据えた取り組みが必要と考えるが、庁内横断的に推進していくために「プロジェクト」の設置はどうか。

総務部長

総合戦略の中でも横断的に戦略

をもって進めている。明確なテーマがあれば取り組んでいきたい。

質問

中部横断自動車道の整備が進んでいる。この状況を踏まえる中でプロジェクトを設置しての取り組みが必要と考えるがどうか。

市長

開通することによって様々な発展がこの地域に望まれてくるという位置付けで捉えている。住宅や企業誘致等の工業団地を進めていく基本構想もあるので、庁内的な検討を関係部所等に指示を出している。



整備が進む中部横断自動車道

質問

市政経営について具体的にどのように進めていくのか。

市長

「あれもこれも」ではなく、真に市民が必要とするもの、市民利益になるものをいかに「選択」し、「集中」していくかが極めて重要であると考えている。

質問

施策や事業の見直しは事務改善が主なのか。

総務部長

一つは行政マネジメントシステムの運用の中で取り組む。もう一つは庁内で働き方改革推進本部を立ち上げて、職員の働き方や職場環境の見直しについて、その両面で取り組んでいく必要があると思っている。

質問

事業の中止や廃止は大変大きな決断になる。職員の考え・意見はその過程では大事だが、最後は市長のリーダーシップによる決断が重要と考えるがどうか。

市長

最終的には私が責任をもって決断することになる。

質問

小諸市公共施設等総合管理計画

の基本方針の内容を伺いたい。

市長

「公共施設」に関しては①施設の総量縮減②新規施設の整備は原則凍結③施設の有効活用。

「インフラ施設」に関しては④施設の長寿命化⑤新施設整備は効率的な対応⑥将来の維持管理に配慮した設計。

「公民連携の推進」では⑦市民及び民間事業者等の力を積極的に活用。

以上7項目の基本方針を定めている。

質問

将来の人口減少、財政状況等から必要性は理解するが、公共施設の縮減や新規施設整備の原則凍結などは、市民福祉やまちづくりに影響が考えられるがどうか。

財政課長

基本計画は市民の皆さんにご理解をいただいて策定した。

各施設などの各論になると、全ての皆さんに賛成をいただくことは非常に難しいことだと思う。十分に市民の皆さんと話し合いを行い、できるだけ多くの皆さんにご理解をいただく中で決定していきたい。



保育園の給食調理員と保育士の雇用形態はどうか

清水喜久男

質問

新生児聴覚検診の状況はどうか。

市長

平成28年度に出生した新生児への訪問は271名であり、このうち264名は検査が実施されている。聴覚検査を実施していない7名については検査の必要性を説明し、その後の乳幼児健診の際に確認をした。

質問

国は、聴覚検査の費用は公費でできるように交付税を措置しているのですが、市町村で負担するよう求めているが、小諸市はどうか。

民生部長

県内では、4市が公費負担を検



保育園の運動会

討中であり、二つの町村が実施している。今後は他の自治体の状況を確認しながら検討したい。

質問

アレルギー食の対応を行う給食調理員及びクラス担任の保育士の雇用形態はどうか。

市長

保育園の給食調理員は22名で全て臨時職員、クラス担任保育士は加配保育士を含めて正規職員が16名、臨時職員が55名です。

なお、正規職員・臨時職員を問わず各種研修等を通じてスキルアップに努めている。

質問

臨時職員の待遇改善と正規職員としての採用の検討はどうか。

市長

本年4月から嘱託臨時職員賃金を月額5千500円引き上げた。保育園では、保護者の就労等に伴って3歳未満児の入所が増えており保育士の確保に苦慮している状況から、実務経験5年以上で40歳以下の経験者枠を設けて募集を行った。



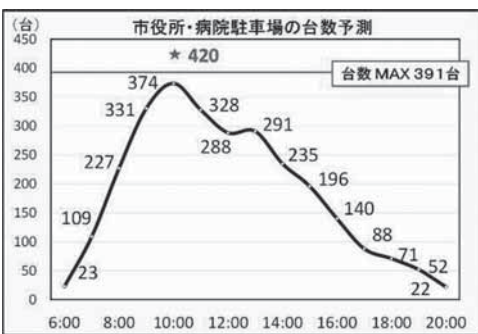
市役所・病院駐車場、満車は絶対ダメです！

高橋 公

質問

12月の病院の移転オープンを控え、駐車場を増やすことは出来ませんが、満車は絶対避けるべき。運営面での満車対策を提案するので副市長の見解を伺いたい。

- ①市役所・図書館・交流センター利用者の1日無料という条例を撤廃し、無料は2時間とする。
- ②全ゲートに案内人を配置し不慣れた車のもたつきを解消する。
- また、ゲートを上げて詰まった車を通過させる権限を与える。
- ③会議やイベントの時間を、午前10時前後は避けて、早朝や夕方



駐車場の時間帯別混雑予測
予想最大台数は420台

を利用し、混雑を分散させる。

- ④会議通知やイベントの案内文に「駐車場は混雑が予想されますので、極力公共交通機関をご利用下さい。あるいは乗り合わせでおいで下さい。」と明記する。
 - ⑤愛のりくんに合わせて、会議時間を午後2時〜3時に設定する。行きは午後1時半の上りの愛のりくん、帰りは午後3時半の下りの愛のりくんが使える。
 - ⑥現こもろ厚生病院の通院者への愛のりくん登録と、車からの乗り換えを促進する。
 - ⑦これらのことを病院とも協議し、病院にも改善していただく。
 - ⑧市役所内でアイデアを出し合う。
- 副市長
- 非常に具体的で、すぐにでも対応できるような提案を頂いた。駐車場対策を気にかけている職員も多いと感じている。頂いたアイデアを参考にしながら市役所内で横断的にアイデアを出し合って検討していきたい。



小諸市営有料駐車場の料金改定はどうか

丸山正昭

質問

市営小諸駅駐車場の料金を見直す考えはあるか。

市長

駅前にある市営小諸駅駐車場と公園への来訪者や観光客の駐車場確保の観点から整備される（仮称）大手門公園駐車場の料金設定並びに料金体系については、2施設とも同様とすることが望ましいと考えている。また、市営小諸駅駐車場の長時間駐車に対する駐車料金を見直すことも含め、検討を



模様替えする大手門公園駐車場

質問

高齢の運転者への支援をどのように考えているか。

市長

高齢になると、反射神経や視力の衰え、視界の狭まり、距離感やスピード感が捉えられなくなるなどによって、交通事故を起こす可能性も高まってくる。そのため高齢ドライバーの交通事故防止に向けた免許制度も変更となり、加えて、高齢者宅への戸別訪問による交通安全指導や自動ブレーキ装備車の体験試乗会、信州チャレンジ号による運転能力や運転適性検査を活用した交通安全教室、教習所等のシルバー技能アップ講習など、あらゆる機会を通じて交通安全に対する意識改革を図るとともに、関係機関や関係団体と協力し高齢者の安全確保に努めていく。



コモロアグリシフトプロジェクトへの期待

小林一彦

質問

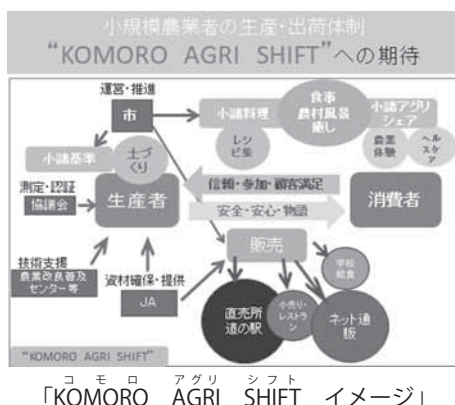
このプロジェクトの目的は何か。

市長

ブランド実態調査により明確となった、「魅力ある多様な農産物」「豊かな土壌」「里山風景」といった強みを生かし、「元気な土づくり」「料理を通じて消費者へ伝える」「癒やしの農体験」などの取り組みを進め、高付加価値化等を図り、儲かる農へとつなげていきたい。

質問

土壌微生物の多様性・活性値を小諸基準とした理由は何か。



市長

従来の化学性や物理性による数値化では、「元気な土」を消費者に伝えにくかったため、「元気な土」の見える化に適している「土壌微生物の多様性・活性値」を利用することとした。この値は、消費者が、小諸の土産の農産物を積極的に選んでもらうために活用できるものであると考えている。

質問

このプロジェクトの進展とともに、農産物の直売所、小諸料理を振る舞う場所、農業体験の拠点としての機能を併せ持つ「道の駅」の必要性が必然的に高まってくると思われる。整備について前向きに検討いただきたい。

市長

今回、このプロジェクトが一定のめどが立つてくるようであれば、高齢化が進む市内の直売所の統合というプランや、情報発信、食事提供等様々なオプションを付けてこの道の駅という提案は当然、ある話だというふうに思っている。



あらゆる差別をなくすには

土屋利江

質問

性同一性障害特別法が施行されてから、全国の自治体では独自の取り組みがされているが、性同一性障害（LGBT）への理解を広める小諸市の取り組みはどうか。

市長

第5次小諸市部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画で、性的少数者への理解を促進し、偏見や差別意識をなくす啓発活動に取り組みと定め、6月には人権政策課と公民館の共催で、また小諸図書館の主催で、それぞれLGBT啓発評論家の講演会を開催した。性同一性障害を正しく理解するための啓発活動を継続していく。

質問

性同一性障害の方から選挙の投票時に、戸籍上の性別の再確認を受けることに強いストレスがあるとの声がある。全国の自治体の5割超が、選挙の入場券の性別表記をやめているが、小諸市はどうか。

選挙管理委員会事務局長

選挙の入場券ハガキに記載されている性別の表記は次回選挙よりなくし、心理的・精神的な負担の解消を図っていく。

質問

昨年の障害者差別解消法の施行を受けて、職員に理念の周知と合理的配慮の徹底がされたか。

市長

庁内の取り組みでは、市職員や教職員を対象とした研修会を実施し、「障がい理由とする差別を解消するための職員要領」を作成した。本年4月からは、手話通訳者を配置するなど、合理的配慮の提供を進めている。



臨時職員待遇改善&小諸版働き方改革を質す

竹内健一

質問

正規・臨時職員の現状はどうか。

総務課長

正規職員は32名で臨時職員が概ね1・5倍の50名おり、その内フルタイムが19名いる。

臨職の内訳は保育士・一般事務・給食関係者が多くを占め、男女比は1対6である。

質問

臨時職員の待遇改善はどうか。

市長

本年4月、嘱託保育士の月額賃金を職務給に合わせ月額16万9千500円から5千500円引上げた。今後とも職務給・均衡の原則等に基づき処遇改善の検討を進めていく。

質問

庁内の働き方改革についての取り組みはどうか。

市長

「小諸市働き方改革推進本部」を立ち上げ、昨年度との超過勤務の比較や分析を行い、業務改善等の取り組みを実施している。

質問

職員の仕事満足度等の意識調査を実施しているのか。

市長

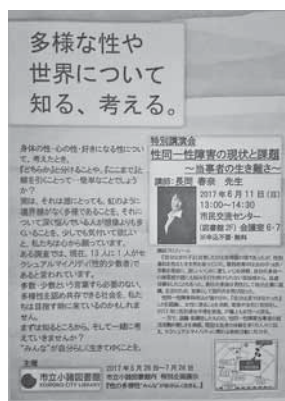
実施はしていないが、庁内マネジメントの浸透度と自立度の調査は実施しており、満足度の設問も含まれているので、今後結果を活用していく。

質問

水道料金の今後の行方はどうか。

市長

10年後の水需要及び料金収入が10%ほど減少すると想定している。平成14年度より料金改訂を行っていないため、32年度以降に料金水準の検証を行い検討していく。





不登校の児童生徒への学習支援、どう考えるか

小林重太郎

質問

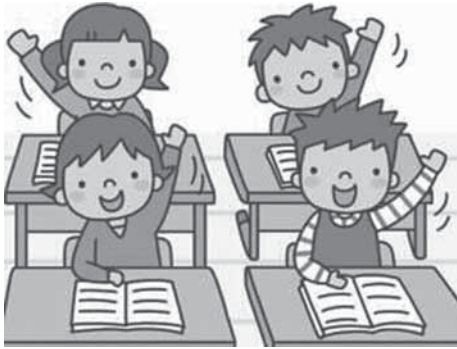
チャイルドライン（心の居場所）の活動をどう評価しているか。

市長

子どものセーフティーネットとして多様な窓口があることは、間口が広がるという意味において有効であり、活動の充実を期待する。

質問

「子どもの居場所」に関わる行政と民間の情報連携について、どのように認識しているか。



市長

行政と民間の情報連携に当たっては、個人情報や人権の問題が関係してくる場合も多く、限界があることも事実で、そうした制約もあることを踏まえた上で、協力し合う努力をすることが重要であると考えている。

質問

不登校・長期欠席の児童生徒への学習支援については、どのように考えているか。

市長

学校では相談室や登校支援室等を設け、児童生徒の学習支援を行っている。また、教育支援センターには中間教室を設けてあり、中間教室に通える児童生徒に対して職員を配置している。

学校にも中間教室にも通えない児童生徒に対する学習支援は大変厳しいのが実態であり、子どもの状態に合わせて教師や学校生活支援員、教育支援センター職員が連携し、プリントの配布や家庭訪問による支援などの対応をしている。



どうなる？どうする介護・福祉！

早川 聖

質問

介護現場を支える介護職員たちは、低賃金と重労働とが重なり、一部の施設では人材確保が非常に困難となっている。人材の質の低下もあり介護現場は崩壊しつつあると思うが所見を聞きたい。

市長

介護現場は非常に人材不足である。待遇改善等については施設ごとに違つが、適正な待遇がなされれば良いと思う。

質問

劣悪な

介護現場

の状況を

野放しに

しないた

めに、ま

た、社会

保障の充

実に向け

て、市町

村会など

を通じて

国に対し

介護保険サービス利用者の自己負担割合

年収340万円以上 (年金のみでは344万円以上)	12万人	2割→3割 (2018年8月～)
年金収入280万円以上	33万人	2割
年金収入280万円未満	451万人	1割

※いずれも単身者の場合。3割負担の人数は厚生労働省の推計

て改善を図るよう進言してほしい。

市長

市長会、町村会等を通じて国へ要望を上げてきている。

質問

介護保険制度関連法では、福祉サービスが必要とする人たちが孤立しないよう、地域住民が支援することを求める条文を社会福祉法に新設するとしている。これが公的な社会保障費の削減路線と結び付き、国や自治体が地域福祉から手を引き、地域住民の自助・互助に役割を押し付けることにつながるの警告が、あらゆる障がい者団体などから相次いでいるがどう考えるか。

市長

財源の問題があり、地方自治体としてできることも限られ、地域の力、民間の力をどうしても頼りにしなければならない。小諸ならではの支え合いの形で補っていくことも必要ではないかと考える。



自然環境の保全と観光振興の両立をどう考えるか

中村 憲次

質問

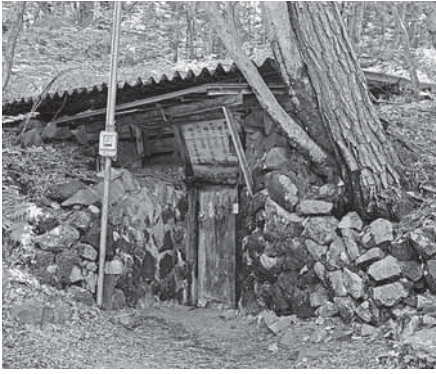
市内で、猛禽類（ハヤブサ・オオタカ）の生息が確認されている。生態系の保全について、行政はどのような対応を行っているのか。

環境水道部長

平成14年に小諸市環境基本計画を策定し、その環境目標の一番に生物多様性の保全について掲げており、様々な主体が連携・協力して計画を推進している。

質問

全国風穴サミットin信州小諸は大成功で、小諸の文化遺産を内外に発信することができた。今後、産業遺産として登録等はどうか。



300年の歴史を持つ氷地区の風穴

市長

風穴には地元の産業遺産として長く続いてきた歴史がある。今後は氷地区の皆さんの意向を尊重し、遺産登録等、行政として必要があれば積極的に支援を行っていく。

質問

観光振興両立につながる飯綱山公園の小諸八重紅枝垂桜の管理等についてはどうか。

建設部長

里親の皆さんに草刈り等をお願いするとともに、小諸八重紅枝垂保存会の皆さんに剪定等の委託を行っている。

質問

小諸市公共施設等総合管理計画の削減数値目標がないがどうか。

市長

人口減少、財政試算等、適正な根拠のある数値目標を出すことが難しい。現状での施設削減は、行政サービスにも影響することからあえて削減数値を「出さなかった」と理解してほしい。



児童館・児童クラブに遊びのボランティアを

柏木 博美

質問

子どもたちの放課後の居場所としての児童館、児童クラブの利用者が多い。1日100人を超える児童館もある。職員配置はどうか。

教育次長

4月当初、長期休みの初め、参観日等の時は常勤の他に代替の登録者をお願いしている。

質問

県内では週1回程度ボランティアによる様々な講座をやっているところがある。いつもと違う大人の目が入ることが子どもにとって良いと思うが、児童館・児童クラブに遊びを教えてくれる大人の



美南ガ丘児童館室内

ボランティアに入っていたかどうかとできないか。

教育次長

それぞれのスタッフの皆さんとも相談して、指導いただける方がいれば研究させていただきたい。

質問

子どもたちは友達、学校、家庭等で様々な問題を抱えている。学校、児童館や児童クラブ、家庭等でどうすればいいかを使い分けているのではないか。

子どもの成長・発達を考えた時、連続性があり、児童館や児童クラブと学校との連携が大切であり、仕組みとしての定期的な連絡会が必要と思うがどうか。

教育長

学校と児童館等がうまくリンクでき、情報が共有できるようなのが必要と思う。個人的な関係ではなく、システムやルールとしてある程度の間隔を置きながらやるようなことも必要と思うので、それぞれのところと話したいと思う。

市民の皆様と話し合った結果を 市長へ提言し、病院長へ要望しました

小諸市議会では、6月
から7月にかけて「議会
と語る会」を開催しまし
た。

本年は、3テーマをご
用意し「防災対策」、「空
家対策」及び「小諸厚生
総合病院に期待するこ
と」について話し合い、
意見をまとめ、10月11日
に市長に提言書を提出し
ました。その概要をお知
らせします。病院に期待
することは、病院長へ要
望書として提出しました。

防災対策

●議会提言

提言1 行政が速やかに
できること

(1)防災への備えを図るた
めの啓発活動

家庭用防災マニュアル

ルが活用できるよう工
夫をした周知を行う。

また、必要に応じて
ハザードマップの提供
を行う。

(2)自主防災組織の立ち上
げ支援

自主防災組織のない
地域には立ち上げの支
援を行い、早急な立ち
上げと機能の確立を図
る。

(3)定期的な防災訓練実施
の呼びかけと支援

救助訓練など、さら
に充実した訓練ができ
るよう支援する。



(4)ささえあいマップの更
新支援

ささえあいマップを
最新の状況に更新でき
るよう支援する。その
際、高齢者・障がい者
等要援護者の情報提供
を適切に行う。
(5)防災士の組織強化と技
能向上
防災士の組織化と技
能向上のための講習会
を充実させる。

提言2 行政が研究し、
方向性を示すべきこと
(1)各区への防災倉庫設置
の推進
防災用具・備蓄品の
保管を行う防災倉庫の
設置に対する支援を行
う。

(2)安全な避難場所の確保

避難場所の見直しと
改善を図り、安全な避
難場所の確保を図る。

(3)情報伝達手段の検討

防災無線に限らず、
全市民に情報提供がで
きる手段を検討する。

(4)AED設置場所の拡充

地域でのAED設置
に対して補助金等の検
討をする。

(5)大型車両の入れない狭
い道路の改良

災害時に大型車両が
入れない地域の把握と
道路拡幅の検討をする。

(6)消火栓の増設

消火栓設置がし易い
環境の整備を行う。

空家対策

●議会提言

提言1 行政が速やかに
できること

(1)空家に関する啓発活動

・特定空家に指定され
た場合、固定資産税
が増えることや所有
者個人が負うべき義
務（民法に定める義
務等）について固定
資産税等の通知に同
封し、周知を図る。

・特定空家にしないた
めに、出前講座等
による啓発活動を活
発に行い、地域で対
応できることや所有
者個人が実施すべき
ことの周知を図る。

(2)空家に関する相談業務
の充実

窓口に専門的な知識
を有する者を配置す
る。

(3)空家になることを市か
ら区に知らせる仕組
みづくり

区や地域で積極的な
対応ができるように支
援する。

提言2 行政が研究し、
方向性を示すべきこと

(1)相続放棄された物件を
引き取り活用する公的
機関

(2)空家リフォームへの補
助金

(3)空家撤去費用への補助
金



「議会と語る会」のまとめ

提言3 地域で対応して欲しいこと

(1) 地域住民が触れ合う機会の増加

住民相互のお付き合いの深度を深めるために、地域行事や祭事の活発化と参加勸奨を推進する。

(2) 挨拶運動、回覧版手渡し運動

提言4 区長会で研究課題とし、方向性を出して欲しいこと

(1) 区外に居住している者で、区内に家屋等の資産を所有している者に対して協力を求める仕組みづくり

提言5 所有者個人に実施して欲しいこと

(1) 空家になることが予定される場合は、事前に隣組長や区長に連絡

(2) 遺言書の作成

(3) 相続手続きの確行

(4) 空家バンクの利用

(5) 地域行事への積極参加

(6) 日頃からの適切な空家の管理

(7) シルバー人材センターが代行する空家管理業務を活用

小諸厚生総合病院に期待すること

●市民要望

1 市民的な総合病院として「市民から信頼される病院」であり続けてほしい。

具体的には、患者の気持ちを理解し、寄り添った対応を求めるもので、安心して利用できる病院であることを願い、病院スタッフの質の向上及び病診連携強化、地域包括ケアの充実に期待するというものでした。また、使い勝手の良い病院（駐車場・食堂・売店等）への要望も多く出されました。



2 二次救急医療機関としての役割が果たせる総合病院であってほしい。

24時間365日の診療体制を維持すると共に、より充実した医療体制（診療科・スキル向上）を確保してほしい。特に夜間及び救急時の対応について改善を求める声が出されました。

当日の質疑でご回答できなかったこと
(担当課に確認)

◆学校関係について

質疑 朝の通学路の大型車規制はどうなっているのか。

回答 学校の周りはスクールゾーンとして車両の通行が規制されている場合があります。この場合、標識で示された時間帯、車種に規制がかかります。許可車以外は通行ができません。

質疑 全児童にヘルメットを貸与してほしい。

回答 登校に不慣れた小学校1年生の安全対策として今後も続けていきます。

質疑 四ツ谷から和田までの通学路の防犯灯が少ないので、年内までに増設をお願いしたい。

◆公共交通について

質疑 未登録者の乗車拒否はいかがなものか。

質疑 登録してご利用いただくルールです。

質疑 コールセンター前が混雑しているので改善できないか。

質疑 市街地活性化の目的もあるが、できる限り車両台数を抑え効率的で安定的な運行を行うことを目的としております。

質疑 毎年6月末までに各区長から要望書を提出いただき、優先順位づけにより予算の範囲内で設置しています。今年度は既に締切となっております。

質疑 糖塚園へ行きづらいが何とかならないか。

回答 現行システムに沿ってご利用ください。

質疑 免許証の返納促進と返納者への支援はどうか。

質疑 動物園・用水事故等、再発事故防止のため、職員の研修教育の充実を図って欲しい。

回答 研修等を実施し、職員教育の充実に努めています。

質疑 免許自主返納の推進は、当面、各種の啓発事業を中心に行う。

回答 高齢者の外出支援のひとつとなっている「こもろ愛のりくん」の利用促進につきましては、引き続き、登録者を増やす取り組みなど推進していきます。

質疑 小諸インターからの「東西線」について今後の方向について早く結論を出してほしい。



ぼいす

第2回

キラキラ★小諸人

小諸小唄シャンシャン体操の会のみなさん

今回は、「小諸小唄シャンシャン体操の会」をお訪ねしました。この会は4月4日に生まれたばかりの新しい団体です。

代表の岡田健さんはじめ17名の会員のうち、7名の皆さんに出席していただき、笑い声の絶えないインタビューとなりました。

Q1 きっかけはなんですか？

健康寿命を延ばすためのご当地体操を作りたいと思っていたときに、大正の初めに作られた「小諸小唄」に出会い、地域回想法として活かせると考えた。小諸厚生総合病院の整形外科の北側先生と理学療法士の佐藤技師長に協力いただき、科学的にも根拠のある足腰に効果的な体操ができた。

Q2 どんな活動をしていますか？

「健康達人くらぶ」や「介護予防教室」等で各地区に出向いて広めている。

小諸市の「市民活動促進事業補助金」をいただいてDVDも作成した。

Q3 これからのように普及したいですか？

子どもから高齢者まで誰でもできる体操なので、保育園で子どもたちにも広めたい。また、これからは指導員資格を作って指導員の養成をしていきたい。認知症予防にもいいし、「脳イキイキ教室」でもやっている。

Q4 小諸市に期待することは？



安心して暮らせ、愉快地笑っていられるまちであってほしい。シャンシャン体操を普及し、足腰を鍛えて健康寿命を延ばし、坂のまち小諸で元気に過ごしてほしい。

「小諸小唄シャンシャン体操の会」の皆さん、これからも元気で大いにこの体操を普及して、小諸市の健康寿命を延ばす一翼を担ってください。

傍聴席



三和区
中澤信一 さん

新庁舎4階の議場に足を運んだのは今回が初めてだが、議会でのやり取りの前に、傍聴する市民から一言。

噂にたがわぬ地下駐車場の使い勝手の悪さを感じるのなか：

じながら、たどり着いた市庁舎4階の議会棟。受付は、無人の受付箱へ住所、氏名の記入だけで、身分証明書の提示とか、もつとセキュリティが高いと思っていたので、これには良い意味で拍子抜け。しかし、傍聴席の扉を開けると、いきなり階段がお出迎え。世の中に「バリアフリー」という言葉があふれかえっているこの時代に、ご心配の方々にとっていかがなものなのか：

議場は、議席の間隔の狭さが気になった。身体が不自由な議員でなくても使い勝手が少々悪そう。スピーカーから流れる音質にも違和感を覚えた。発言する人によって、声が大きくなって割れたり、小さかったり。傍聴席にいる私でも聞きづらい。議場の壁にある立派なモニターも、議員の名前と残り時間の表示だけではもったいない。「議会改革」同様に「議場改革」も必要かもしれない。

編集後記

前号より、数力所リニューアルをして発行いたしました。さらに市民の皆様にも読んでもらえる「議会だより」にするため、尾台広告事務所の尾台羊一氏を講師に招き研修を受け、議論を重ね、今号の発行となりました。

表紙と最後のページ「ぼいす」欄は、小諸小唄シャンシャン体操の会の皆さんにご協力いただきました。いかがでしょうか。

さて、9月定例議会は、昨年度予算が有効に使われたかを検証す

る決算議会で、様々な観点から質疑が展開されました。一般質問では、12月1日、小諸厚生総合病院が移転、開院となるが、駐車場は大丈夫なのか、との質疑があり、開院までには市民の皆様の利便性が図られるようあらゆる手段を講じていく、とのことでありました。今後もしっかり行政へのチェック機能を果たしてまいります。

これからも、多くの市民に愛され親しまれる議会広報紙を目指し活動してまいります。

(丸)